

# 奈良県スポーツイノベーション推進本部 第3回本部委員会 議事要旨

日 時：令和8年4月17日（金）10：00～11：00

会 場：奈良県コンベンションセンター

出席者数：16名

## （1）開会行事

### 1) あいさつ

奈良県スポーツイノベーション推進本部本部長（奈良県知事） 山下 真

## （2）第3回本部委員会 （司会 山下本部長）

### 1) 第1号議案・・・資料P2～8

◆事務局より、令和7年度事業実施報告。

➤ 第1号議案について、承認された。

【質疑1：神谷委員】

国スポ会場地リストはあるか。

【回答1：事務局】

後ほど、リストを提供する。

### 2) 第2号議案・・・資料P9

◆事務局より、令和7年度事業決算及び監査報告。

➤ 第2号議案について、承認された。

### 3) 第3号及び第4号議案・・・資料10～13

◆事務局より、令和8年度事業計画案及び予算案説明。

➤ 第3号及び第4号議案について、承認された。

#### 4) 質疑応答

##### 【質疑2：濱田委員】

トップアスリート発掘育成事業におけるスポーツ能力測定会后、能力の高い子どもには次のステップがあるのか。例えば、その子に向いている競技を紹介する働きかけなどは行っているのか。

##### 【回答2：事務局】

能力の高い子どもは翌年度の育成プログラムに進んでいただき、年間を通じて基礎的能力の向上に取り組んでもらっている。また、能力測定会の参加者に対して、測定結果をもとに複数の向いているスポーツを紹介している。

##### 【質疑3：神谷委員】

就職に関する説明会などの時期が早まっている印象があるが、アスリート県内定着プログラムの周知は、どのように行っているか。

##### 【回答3：事務局】

周知に関しては、積極的に大学や企業に対してアプローチを仕掛けている。特定の時期にこだわらず、大学や競技団体と情報共有を密にしながら適宜適切に対応している。引き続き、積極的にアプローチしていきたい。

##### 【質疑4：神谷委員】

令和13年の国スポに関する選手のエントリー要項は決まっているか。

##### 【回答4：事務局】

これからの決定と聞いており、公表されればお示しする。

##### 【質疑5：笠次委員】

県民スポーツ大会の救護体制はどうなっているか。

##### 【回答5：事務局】

大会運営については、競技ごとに各競技団体が主管として入っており、一般的な競技大会同様の救護体制を組んで実施している。今のところ大きなトラブル等の報告は受けていない。

##### 【質疑6：笠次委員】

子どもの運動習慣化について、小さい頃から身体を動かすことが面白いことを理解させるためにも、幼稚園や小学校でアクティブチャイルドプログラムを活用してはどうか。

##### 【回答6：大石副本部長】

現状、指導主事が巡回するような形はとっているが、大変興味深い取り組みで

あるため、専門的な知見も教えてもらいながら良いものにしていきたい。

**【質疑7：神谷委員】**

国スポ大会に向けたボランティア募集の依頼があれば、大学生の活用なども支える側として入れていただければと思う。

**【回答7：事務局】**

今後、関係課とも共有しながら、大学や企業への依頼や調整を進めていきたい。

5) 主な意見

**【意見1：檜原委員】**

令和8年度から中学校の部活動の地域展開が奈良県で始まっており、自治体を中心に地域クラブをつくっているところなので、皆様にも是非とも色々なご協力をいただければありがたい。

**【意見2：笠次委員】**

国スポ大会で準備した救護等の資機材については、大会後の扱いが課題となる。県民スポーツ大会への有効活用等も見据えながら進めてほしい。

**【意見3：笠次委員】**

中学1年生の体育理論の授業でスポーツへの多様な関わり方という授業があり、スポーツを支えることは面白いという点を伝えるための授業指導案やワークシートを作成しているので、ご活用いただきたい。

**【意見4：笠次委員】**

中学校の部活動の地域展開に関して、奈良教育大学では教育に関することを学んだスポーツが得意な学生が子どもを指導するという事業を行っているので、ご相談いただければと思う。

以 上